



11月の園だより

令和6年11月1日

ほづみ幼稚園

季節の移りは早いものです。暑かった夏が遠い前のように、朝晩肌寒く感じる季節となりました。一日の気温の差が大きい日もあり、体調管理には十分お気を付け下さい。

運動会には応援ありがとうございました

10月9日の運動会には、多くの保護者の皆様にご参観いただきありがとうございました。この日を迎えるまでの子供たちの頑張りが分かるような一生懸命な姿、そして何よりも楽しそうな笑顔がとても印象的でした。

年少児の、友達や先生と一緒に表現力豊かに踊る姿やかけっこでゴールを目指し最後まで走り切る姿
年中児の、クラスの仲間と心をつなぐパラバルーン、力強く走り抜いたかけっこ、一つ一つ安全にでもスピーディーに取り組んだ障害物競走

年長児の、スピード感溢れるリレー、最後まで粘り強く取り組んだ障害物競走、華麗な演技の踊り、クラスの団結を示した綱引き、どの年次も、自分たちの運動会を自分たちで行う姿は、頼もしく素晴らしいものでした。

毎日の積み重ねが「えがおきらきら わくわく かきりんぴっく ～さいごまでがんばるところにきんめだる～」の姿になったと思います。どのクラスも自分たちの目標に向かって精一杯の取り組みができました。親子競技のご協力や皆様のたくさんの応援、心の支えありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。



自分の考えを遊びに生かす11月に

運動会後子供たちは自分がやってみたい他の年次の競技（運動会ごっこ）をみんなと一緒に楽しみました。大きい子に憧れをもち一生懸命に真似たり、大きい子は優しい眼差しで教えてくれたり、異年齢のふれあい体験からどの年次も自信に繋がっています。

いろいろな行事を経験して、徐々に仲間意識が高まり、仲間の良さを認め合えるようになってきました。また、友達同士で意見を出し合う中で、相手の意見を受け入れられる姿も多く見られるようになってきました。

11月は、こうした仲間の信頼関係を土台にして、自分たちの考えを遊びに生かしていくことを目指して、保育を進めてまいります。

秋の遠足では、お弁当のご協力ありがとうございました

年少児は別府保育所東館の芝生のグラウンドへ、年中児は彦内公園へ、遠足に出かけました。天気に恵まれ友達と一緒に園とは違う環境で過ごす楽しさを味わいました。年長児は12月2日に犬山のモンキーセンターへ大型バスに乗って出かけます。今から楽しみです。

パカポコ・ボール・縄とび遊びを始めます

運動会を通して身に付けた頑張りの気持ちと、体を動かす心地よさから、戸外遊びに取り組む子が多くなりました。仲間と一緒に遊ぶ楽しさから、鬼ごっこやドッジボールを誘い合ったり、うんていやタイヤ跳びに黙々と挑戦したり、年中、年少児は、年長児の真似をして踊りを踊ったり、クラスでリレー遊びを楽しんだりする姿も見られます。そのような姿から、戸外遊びの一つとして、年少児はパカポコ、年中児はボール、年中児は縄跳び遊びを取り入れたいと思います。年次毎に市からのプレゼントとしてお渡しした遊び遊具を、11月8日(金)までに園へ持ってきてください。 よろしくお願ひします。

〇〇の秋！

秋といえば、自然物を使って遊ぶ**手作りの秋**・おいしい物がいっぱい**食べる秋**・紅葉を見たり、景色の変化を感じたりする**感じる秋**などを想像しますが、今回は**見る秋**についてお知らせします。**絵本は、心の栄養**とも言われ**豊かな心情や、自己肯定感**が育まれていきます。そこで…この秋の休日には家族で図書館に出かけてみませんか。子供たちは絵本が大好き！！子供も大人も一緒になって絵本を楽しみましょう。どんな本と出会えるかな？



運動遊び 自然物遊び・廃材遊び 楽しんでいます



先日はそれぞれの年次の秋の遠足でしたね。年中の子供たちは彦内公園で落ち葉拾いや虫探し、園にはないブランコやのぼり棒などで楽しんでいました。ブランコに座ってみるとブランコが揺れるので「押さんでいい」と地面から足を離せない子、座ってはみたものの、地面から足を離すと揺れるから「押さんといて」と言う子、す～いすいとブランコを楽しむ子、「これ（のぼり棒）どうやって登るの？」と友達の姿を見て、靴下を脱ぎ、裸足になって「先生、持っって（大人がお尻を支えて登らせる）」とチャレンジする子、足の裏でのぼり棒を挟んで登っていく子、足の指をパッと開いて足の指でのぼり棒に登っていく子など、園にはない固定遊具でいろいろな姿が見られ、子供たちの経験も様々だと改めて痛感しました。子供の興味や能力などに応じた遊びの中で、自分から十分に体を動かす心地よさを味わえるよう、ほづみ幼稚園にある環境を活かして、走ったり、跳んだり、投げたりといった運動遊びはもとより、これにとどまらずいろいろな遊びを楽しんでいきたいと思ひます。



秋の自然物遊びや廃材での製作遊びが盛り上がっています。『何をしているのかな？！楽しそう！』とわくわくと、自然と自分から遊びの中に入っていきますね。子供たちのわくわく・ドキドキ見つけ、今の時季にしかできない経験や体験を大切にしていきたいと考えています。教室にはドングリやまつぼっくり、



じゅず玉、ススキなどの自然物が豊富にあり、日々の生活の中で季節による

変化を感じていることが分かります。A棟スロープをいかして友達とアイデアを出し合い、協力してドングリ滑り台を製作中の年長さん。毎日試行錯誤していますよ。ネックレス製作では、年少さんはひたすらキビガラを通し、年中さんはキビガラとストロー、たまにじゅず玉を通し、年長さんは『どうやって通していこうか』とデザインも考え、『青・赤・青・じゅず玉・赤・青・赤・じゅず玉・青・赤・青・じゅず玉・赤・青・赤・じゅず玉…』と通したり、じゅず玉の色の違いに気がつき、黒・白・茶・灰色を組み合わせたたりしています。



これからも自然の仕組みに心を動かし、遊びの中に取り入れ、子供たちとともに秋の自然を満喫していきたいと思ひます。お家でも是非、秋見つけを楽しんでくださいね。